都立工科高校と産業の団体との連携推進協議会（第2回）

- 工科高校と産業の団体との連携の方向性
- 令和8年度の具体的な取組の案

都立工科高校と産業の団体との連携の方向性

連携（タイアップ）の方向性

＜ **魅力の向上** ＞

入学まで

□ 工科高校の入学者数を増やす入口戦略として、**工科高校の教育内容の充実**による魅力向上に加え、**建設業界全体の一層のイメージアップ**がセットで必要

◎ 生徒・保護者向けの業界の取組紹介の推進　など

＜ **人材の育成** ＞

入学から卒業まで

□ **建設業界**で**具体的**に求められる**技術**を**工科高校**の**生徒**に**身に付けさせる取組**

◎ 最新の知識・スキルを学校内外で現場人材による教授

□ **学び**に**直結**した**進路**を選択するための**後押し。**

◎ **生徒向けの業界の取組紹介**　など

都立工科高校のPR

新聞全面広告・パンフレット





SNS・WEB広告（Google、Yahoo、LINE）



Google／Yahoo（保護者向け）



LINE（中学生向け）

東京都における産業の団体との連携イメージ

これまで

○ 教員が校舎や敷地を活用し、授業時間に実習として実施
※ 実習スキルのある教員が配置されている場合に、教員の力量に応じて実施



鉄筋工実習

木造づくり実習



教員が学校で行うため、大掛かりなものや実際に即した指導ができない

今　後

◎ 現場の一線で活躍する人材が、最新の知識・技術を校内外で指導、実習（スキル習得）も担当
※協議会を通じ、全校での実習を実現



第一線人材による現場での鉄筋工実習

第一線人材による現場での木造づくり実習



第一線の人材が現場で行う指導で、即戦力人材を早期に育成

建設業界と都立高校が強固に連携し、東京の未来を創る人材を多く輩出

連携に向けた今後のスケジュール

令和7年度

□ 第一回　都立工科高校と産業の団体との連携推進協議会開催

□ 第一回の議論を踏まえ、事務レベルで東京都と産業の団体との連携案を協議

令和8年度

□ 事務レベルでの検討を踏まえ、第二回連携推進協議会開催（本日）

□ 令和8年度中に連携施策を実施

□ 第三回連携推進協議会において、連携施策の効果を検証

令和8年度の具体的な取組の案

ポイント

1　業界全体と工科高校のイメージアップ

- 建設業の**社会的意義**や**女性活躍**を含めた、**働きやすい職場づくりの推進**について**効果的**に**発信**
- 工科高校で最先端のテクノロジーを使い、効果的に技術を習得できることを幅広く紹介

2　団体と工科高校が連携した人材育成

- 工科高校の学びの向上のため、業界団体の協力により、現場人材による授業や講座などを実施
- 建設現場に出向いて、建設業界の実際の仕事を体験できる機会を確保

本協議会を通じて、取組をさらに加速

令和8年度の具体的な取組の案

イメージアップ　➡ イベント等の活用　＜工科高校と建設業界の理解促進＞

① 「工科高校ドリームフェスタ」に建設業界のブースを開設

② 小中学生・教員、保護者向け「工科高校・建設業」のPRを展開

③ 工科高校で建設業に係る講演会の実施

令和8年度の具体的な取組の案

①「工科高校ドリームフェスタ」に建設業界のブースを開設

- 中学生や保護者、都民に工科高校の魅力をわかりやすく発信するPRイベント
- R7年度の来場者数は、**5,041人**
- R8年度は、**8月2日（日曜日）**に**新宿住友ビル・三角広場**にて開催

○工科高校生によるＰＲ



○ものづくり体験・実演



○工科高校ブース



○先端技術体験



建設業界のブースを新たに開設し、建設業の魅力を共に発信

- 建設業団体にご協力いただき、動画等を活用しながら建設業全体の魅力や社会的意義をPR
- 各団体のPR素材（チラシ、リーフレット等）を会場で配布

令和8年度の具体的な取組の案

② 小中学生・教員、保護者向け「工科高校・建設業」のPRを展開

（令和8年1月・2月）







工科高校・建設業界の意義や魅力を発信するコンテンツを作成

- R8年度は、**6月、12月、2月**に**新聞広告**を掲載（工科高校×建設業）
- **夏休み**及び**冬休み前**に、都内公立中学校に**印刷物**を**配布**
- 各団体の印刷物と工科高校のPR冊子などを合わせて配布

③ 工科高校で建設業に係る講演会の実施

建設会社や設計事務所の技術者や大学関係者等から施工や設計に関する講演

＜今年度の予定＞

【蔵前工科】	建築科	2・3月	建築設計・ゼネコン
	設備工学科	6月・2月	設備設計・管工事
【葛西工科】	建築科	7月・3月	住宅施工 等
【墨田工科】	建築科	6月・11月	ゼネコン・建築設計
【総合工科】	建築科	11月	施工協力会社
	都市工学科	11月	建設機械事業者
【田無工科】	建築科	7月・3月	大工・建築設計
	都市工学科	7月・10月	鉄道事業者 等





建設業へのイメージ向上に役立つ講演会を
工科高校で実施

令和8年度の具体的な取組の案

人材の育成 ➡ 授業や放課後等にホンモノの体験　＜技術の学び方の変革＞

④　実習や課題研究等のカリキュラムへの技術者・技能者の派遣

⑤　建設現場の見学会やインターンシップの実施

④　実習や課題研究等のカリキュラムへの技術者・技能者の派遣

○　工科高校建築科の実習等の授業

1 年	2 年	3 年
基礎的授業 ・木材加工の授業 **建築大工等の技能士** ・測量の授業 **ドローン技術者・測量士**	**実習** ・技能工の授業 **内装・タイル・鉄筋・建具とび・鉄筋・型枠・等の技能士**	**製図** ・自由な発想の図面作成 **建築士** **課題研究** ・設計から施工、管理まで学びの集大成 **施工管理技士**

建設会社の技術者や協力企業の技能者に、現場一線級人材の派遣を依頼

④ 実習や課題研究等のカリキュラムへの技術者・技能者の派遣

＜企業等の外部人材による授業を予定＞

【建築大工/木工】	蔵前工・墨田工・葛西工・総合工・田無工
【設計/製図(建築士)】	蔵前工・墨田工・総合工・田無工
【測量/ドローン】	蔵前工・葛西工・総合工
【タイル】	墨田工・葛西工
【とび・左官・型枠・鉄筋】	墨田工・葛西工
【クレーン】	葛西工

※技能職体験会の参加　蔵前工・葛西工・総合工・田無工





多様な職種の技能士や施工管理技士等による
カリキュラムを実施

④実習や課題研究等のカリキュラムへの技術者・技能者の派遣

➢例えば、空き家等のリノベーションを学びの場として活用

（例）
・現地調査　→採寸・点検・図面化
・設計　　→デザインに対するアイデア出し
・施工　　→内装、クロス張りなど簡易な工事への参加



- 建築・設備等一体的かつ現場に近い形で業界とも連携して**実社会に直結した学び**の提供が可能
- 実践学習を通じて業界に対するイメージ向上に寄与

（工科高校、業界それぞれの魅力発信に結びつける工夫）

⑤-1　建設現場の見学会の実施



＜今年度の予定＞

【蔵前工科】	建築科	5月・9月・1月	RCビル工事・木造住宅 等
	設備工学科	5月・6月	ビル管理・空調衛生工事
【葛西工科】	建築科	6・7月・12月・3月	RCビル工事・木造住宅　等
【墨田工科】	建築科	2月	ゼネコン研修センター
【総合工科】	建築科	12月	RCマンション工事
	都市工学科	12月	港湾工事
【田無工科】	建築科	12月・3月	RCマンション工事
	都市工学科	5月・7月・10月	鉄道工事等

各団体主催の現場見学会について、**工科高校生**に加え、**小中学生・保護者を対象に、周知を強化**

⑤-2 インターンシップ等の実施（2年生向け）



＜今年度の予定＞

【蔵前工科】11月
【葛西工科】11月
【墨田工科】12月
【総合工科】11月
【田無工科】7月･8月･12月･3月

- 建設会社
- 工務店
- 施工協力会社
- ハウスメーカー
- ビル管理会社　等

- 建設会社等でのインターンシップをさらに実施
- インターンシップを増やすための受入れ時期の多様化
- 3年生の企業訪問についても受入れを増やす工夫

意見交換